

農業用水の歴史年表

	BC	AD	600	700	1200	1500	1600	1900					
	縄文	弥生	古墳	律令	鎌倉・室町	安土桃山	江戸	明治・大正	昭和				
社会のできごと	稲作が始まる	卑弥呼が魏に使いを送る かんがい農業始まる	班田収授法 大化の改新（土地公有化）	墾田永代私有令 鉄製道具による農業開発	荘園整理令 乾田化、二毛作始まる	（国一揆、一向一揆） 鉄製道具普及	太閤検地 関ヶ原の戦い イモ栽培の普及 幕府、新田開発を奨励	大成奉還 （百姓一揆） 天保の大飢饉 天明の大飢饉 幕府、新田開発を奨励 地租改正	関東大震災 米騒動 耕地整理法の制定 大日本帝国憲法配布	沖繩、日本に復帰 東京オリンピック開催 土地改良法制定 農地改革 太平洋戦争			
建設された農業施設の主なもの		登呂遺跡（静岡） 国東半島の溜池群（大分）	狭山池（大阪） 古照遺跡（愛媛）	満濃池（香川）			葛西用水（埼玉） 見沼代用水（埼玉） 山田用水（福岡） 入鹿池（愛知） 玉川上水 野火止用水（東京）	明治用水（愛知） 安積疎水（福島） 那須疎水（栃木） 渦巻ポンプ揚水機場（静岡） 三丁目堰（宮城） 七箇用水（石川） 榛名湖疎水（群馬）	地下ダム（沖繩） 両総用水ダム（千葉） 北海幹線（北海道） 野火止用水復活（東京） 香川用水（香川） 豊川用水（愛知） 愛知用水（愛知）				
水と農業	（農業用水開発が始まる）				（ため池を中心とした農業用水開発が進む）			（沖積平野における農業用水の開発が行われる） （水の利用をもとにした村が形づくられる） （水の使い方を決める農民の組織ができる）		（台地の開発を目的に農業用水の開発が進む）		（農業用水確保のための新しい施設整備が進む）	